

新潟市早期景気観測調査

～平成29年4月分～

～目次～

4月調査の概要と概況	・・・P1
売上等項目別評価と業種別DI値	・・・P2
業界から寄せられた主なコメント	・・・P3
本調査方法と調査内容	・・・P4

新潟商工会議所

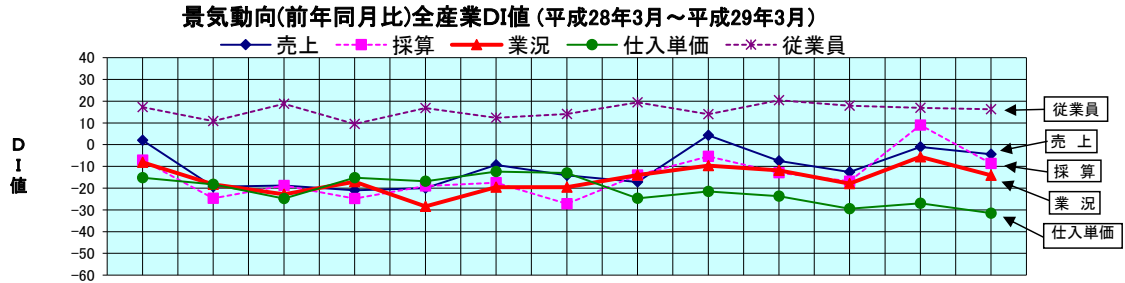
1. 4月調査の概要と概況

【4月の概要】

景況感は下降気味、先行きは横這いの見通し

3月に比べると、採算D Iはプラスからマイナスに転じ、売上D I、業況D I、仕入単価D Iもそれぞれマイナス幅が増加している。従業員D Iもプラス幅がやや減少した。サービス業や製造業の一部に業況は改善傾向との声が聞かれる一方で、建設業では受注不足との声が聞かれ、全般的には景況感下降気味となり、依然として景況回復の力強さを欠いた状況となっている。

先行きについては、3月に比べ、採算D Iがプラスからマイナスに転じ、仕入単価D Iはマイナス幅が増加。業況D Iはややマイナス幅が減少したが、売上D Iは変わらず、先行きは横這いの見通し。



	H28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H29年 4月
◆ 売上	2.0	▲ 19.4	▲ 18.8	▲ 21.0	▲ 20.0	▲ 9.3	▲ 14.1	▲ 17.2	4.3	▲ 7.5	▲ 12.6	▲ 1.1	▲ 4.4
■ 採算	▲ 7.1	▲ 24.7	▲ 18.8	▲ 24.8	▲ 19.0	▲ 17.5	▲ 27.2	▲ 14.0	▲ 5.4	▲ 12.9	▲ 16.8	9.0	▲ 8.7
▲ 業況	▲ 8.1	▲ 18.3	▲ 22.8	▲ 17.1	▲ 28.4	▲ 19.6	▲ 19.6	▲ 14.0	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 17.9	▲ 5.6	▲ 14.1
● 仕入単価	▲ 15.2	▲ 18.3	▲ 24.8	▲ 15.2	▲ 16.8	▲ 12.4	▲ 13.0	▲ 24.7	▲ 21.5	▲ 23.7	▲ 29.5	▲ 27.0	▲ 31.5
✱ 従業員	17.2	10.8	18.8	9.5	16.8	12.4	14.1	19.4	14.0	20.4	17.9	16.9	16.3

DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

1. 調査概況報告

【全産業平均DI】

採算D Iがプラスからマイナス8.7ポイントに転じた。売上D Iで3.3ポイント、業況D Iで8.5ポイント、仕入単価D Iで4.5ポイントとそれぞれマイナス幅が増加し、従業員D Iは0.6ポイントプラス幅が減少した。

全産業平均D I - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
3月	1.1	1.1	▲ 27.0	23.6	▲ 3.4
4月	1.1	▲ 3.3	▲ 34.8	16.3	▲ 2.2

先行きは、採算D Iはプラスからマイナス3.3ポイントに転じ、仕入単価D Iは7.8ポイントマイナス幅が増加し、従業員D Iは7.3ポイントプラス幅が減少した。業況D Iは1.2ポイントマイナス幅が減少し、売上D Iはプラス1.1ポイントで変動はなかった。

【業種別DI】

建設業は前年同月比で3月に比べ、採算D Iが0からマイナス15.0ポイントとなったものの、従業員D Iは、0から10.0ポイントプラス幅が増加し、売上D Iは6.7ポイント、仕入単価D Iも6.7ポイント、業況D Iは5.0ポイントとそれぞれマイナス幅が減少した。先行きは、売上D Iで10.0ポイント、採算D Iで1.7ポイント、従業員D Iで23.3ポイント、業況D Iで38.3ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。仕入単価D Iは11.7ポイントマイナス幅が増加した。

製造業は前年同月比で3月に比べ、従業員D Iが8.7ポイントプラス幅が増加したものの、売上D Iが2.4ポイントプラス幅が減少し、採算D Iはプラス22.0ポイントから0となった。仕入単価D Iと業況D Iは8.7ポイントマイナス幅が増加した。先行きは採算D Iがマイナス16.7ポイント、業況D Iがマイナス22.2ポイントからそれぞれプラスに転じ、売上D Iは6.4ポイント、従業員D Iは17.5ポイントとそれぞれプラス幅が増加した。仕入単価D Iはマイナス33.3ポイントで変動はなかった。

卸売業は前年同月比で3月に比べ、従業員D Iが2.4ポイントプラス幅が増加したものの、売上D Iはプラス14.3ポイント、採算D Iはプラス9.5ポイントからそれぞれマイナスポイントに転じた。仕入単価D Iは19.0ポイント、業況D Iは17.4ポイントとそれぞれマイナス幅が増加した。先行きは採算D Iがプラス9.5ポイントからマイナス33.3ポイントに転じ、売上D Iは4.0.5ポイント、仕入単価D Iは10.3ポイント、業況D Iは24.6ポイントとそれぞれマイナス幅が増加した。従業員D Iは8.7ポイントプラス幅が減少した。

小売業は前年同月比で3月に比べ、採算D Iでマイナス42.9ポイントから0となり、業況D Iもマイナス57.1ポイントから0となった。売上D Iは17.9ポイントマイナス幅が減少し、仕入単価D Iは0からマイナス25.0ポイントとなった。従業員D Iは0ポイントで変動はなかった。先行きは、業況D Iがマイナス42.9ポイントから0となったものの、売上D Iで7.1ポイント、採算D Iで21.4ポイント、仕入単価D Iで10.7ポイントとそれぞれマイナス幅が増加した。従業員D Iは0ポイントで変動はなかった。

サービス業は前年同月比で3月に比べ、仕入単価D Iで8.1ポイントマイナス幅が減少したものの、業況D Iはプラス14.3ポイントからマイナスに転じ、従業員D Iは15.2ポイントプラス幅が減少した。採算D Iもプラス17.9ポイントから0となった。売上D Iは0ポイントで変動はなかった。先行きは業況D Iがマイナス3.6ポイントからプラスポイントに転じたものの、仕入単価D Iは6.2ポイントマイナス幅が増加し、従業員D Iは18.6ポイント

2. 売上等項目別評価と業種別DI値

【項目別評価】

＜売上＞

売上D Iの前年同月比は、建設業が6.7ポイント、小売業が17.9ポイントとそれぞれマイナスポイントが減少したものの、卸売業はプラスポイントからマイナス11.1ポイントに転じ、製造業は2.4ポイントプラス幅が減少した。サービス業は0ポイントで変動はなかった。

先行きについては、製造業で6.4ポイントプラス幅が増加し、サービス業でマイナス14.3ポイントから0となったものの、建設業が10.0ポイントプラス幅が減少し、卸売業で40.5ポイント、小売業で7.1ポイントとそれぞれマイナス幅が増加した。

＜採算＞

採算D Iの前年同月比は、小売業がマイナス42.9ポイントから0となったものの、卸売業がプラスポイントからマイナス27.8ポイントに転じ、製造業はプラス22.2ポイントから0となり、サービス業もプラス17.9ポイントから0となった。建設業は0からマイナス15.0ポイントとなった。

先行きについては、製造業でマイナスポイントからプラス4.8ポイントに転じたものの、卸売業がプラスポイントからマイナス33.3ポイントに転じ、小売業は21.4ポイントマイナス幅が増加した。建設業は1.7ポイントプラス幅が減少し、サービス業は0からマイナス3.5ポイントとなった。

＜仕入単価＞

仕入単価D Iの前年同月比は、建設業で6.7ポイント、サービス業で8.1ポイントとそれぞれマイナス幅が減少したものの、製造業は8.7ポイント、卸売業は19.0ポイントとそれぞれマイナス幅が増加し、小売業は0からマイナス25.0ポイントとなった。

先行きについては、建設業は11.7ポイント、卸売業は10.3ポイント、小売業は10.7ポイント、サービス業は6.2ポイントとそれぞれマイナス幅が増加した。製造業はマイナス33.3ポイントで変動はなかった。

＜従業員＞

従業員D Iの前年同月比は、サービス業が15.2ポイントプラス幅が減少したものの、建設業で10.0ポイント、製造業で8.7ポイント、卸売業で2.4ポイントとそれぞれプラス幅が増加した。小売業は0ポイントで変動はなかった。

先行きについては、製造業で17.5ポイントプラス幅が増加したものの、建設業が23.3ポイント、卸売業が8.7ポイント、サービス業が18.6ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。小売業は0ポイントで変動はなかった。

＜業況＞

業況D Iの前年同月比は、小売業でマイナス57.1ポイントから0となり、建設業で5.0ポイントマイナス幅が減少したものの、サービス業はプラスポイントからマイナス10.3ポイントに転じ、製造業は8.7ポイント、卸売業は17.4ポイントとそれぞれマイナス幅が増加した。

先行きについては、建設業で38.3ポイントプラス幅が減少し、卸売業で24.6ポイントマイナス幅が増加したものの、製造業はマイナスからプラス4.8ポイントに転じ、サービス業もマイナスからプラス3.5ポイントに転じた。小売業はマイナス42.9ポイントから0となった。

【参考】全産業平均DI-向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
3月	1.1	1.1	▲27.0	23.6	▲3.4
4月	1.1	▲3.3	▲34.8	16.3	▲2.2

2. 業種別DI値

①: 前年同月比 ②: 向こう3か月間の先行き見通し

(1) 建設業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
3月	▲26.7	40.0	0.0	26.7	▲26.7	▲33.3	0.0	33.3	▲20.0	53.3
4月	▲20.0	30.0	▲15.0	25.0	▲20.0	▲45.0	10.0	10.0	▲15.0	15.0

(2) 製造業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
3月	16.7	22.2	22.2	▲16.7	▲38.9	▲33.3	5.6	11.1	▲5.6	▲22.2
4月	14.3	28.6	0.0	4.8	▲47.6	▲33.3	14.3	28.6	▲14.3	4.8

(3) 卸売業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
3月	14.3	▲9.5	9.5	9.5	▲14.3	▲28.6	14.3	14.3	▲4.8	▲14.3
4月	▲11.1	▲50.0	▲27.8	▲33.3	▲33.3	▲38.9	16.7	5.6	▲22.2	▲38.9

(4) 小売業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
3月	▲42.9	▲42.9	▲42.9	▲28.6	0.0	▲14.3	0.0	0.0	▲57.1	▲42.9
4月	▲25.0	▲50.0	0.0	▲50.0	▲25.0	▲25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) サービス業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
3月	0.0	▲14.3	17.9	0.0	▲35.7	▲21.4	39.3	39.3	14.3	▲3.6
4月	0.0	0.0	0.0	▲3.5	▲27.6	▲27.6	24.1	20.7	▲10.3	3.5

3. 業界から寄せられた主なコメント

平成29年4月

建設業	<p>一般建設：公共事業の予算がつく5～6月まで仕事量が少ない。</p> <p>総合建設：官公庁工事および民間工事の物件数が少なく受注環境は厳しい。</p>
製造業	<p>機械部品：生産能力を上回る受注が続いている。</p> <p>食料品：臨時に求人をしてもなかなか集まらない。人手不足感を感じる。</p>
卸売業	<p>機械部品：材料の値上げにより製品価格が全体に上昇し、今後、利益率を圧迫していくと思われる。</p> <p>日用品：好調な商品があり予想以上に売上は順調。</p>
小売業	<p>生花：新年度を迎えて入学式等の需要は落ち着いた。気温上昇のため販売は減少気味である。</p>
サービス業	<p>ホテル：今月になり順調に客室、一般宴会の予約を取り込むことができている。</p> <p>運輸：3月に引き続き、今のところ物量は前年を維持しており、このまま推移すれば若干前年を上回る見通し。食品と雑貨関係が好調。</p> <p>不動産：大型開発案件が増加しているが、なかなか供給が間に合わない、結果として案件の増加に停滞感がある。</p>

4. 本調査方法と調査内容

業種別調査対象数

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
調査対象数(件)	61	61	60	50	69	301
回答数(件)	19	21	18	4	29	91
回収率(%)	31.1	34.4	30.0	8.0	42.0	30.2

調査方法

新潟市内にある当所の会員企業・団体等の中から、建設・製造・卸・小売・サービスの5業種について、予め調査への協力をお願いした301ヶ所の調査対象に対し、毎月15日前後に調査票をインターネットまたはファクシミリ送信し、25日前後までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

質問内容

売上・採算・仕入単価・従業員・業況について、今月の動向が前年同月と比較してどのように変化しているかということと、今後3ヶ月の見通しについて、今月と比較してどのように考えるかということを探っています。

DIとは

DI(DIFFUSION INDEX)値：景況判断指数

売上・採算・業況などの各項目についての、調査対象の判断の状況を表す指数です。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を示す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。つまり、売上高など実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

DIの計算方法

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

売上	(増加)の回答% - (減少)の回答%
採算	(好転)の回答% - (悪化)の回答%
仕入単価	(下落)の回答% - (上昇)の回答%
従業員	(不足)の回答% - (過剰)の回答%
業況	(好転)の回答% - (悪化)の回答%